

AppSuite

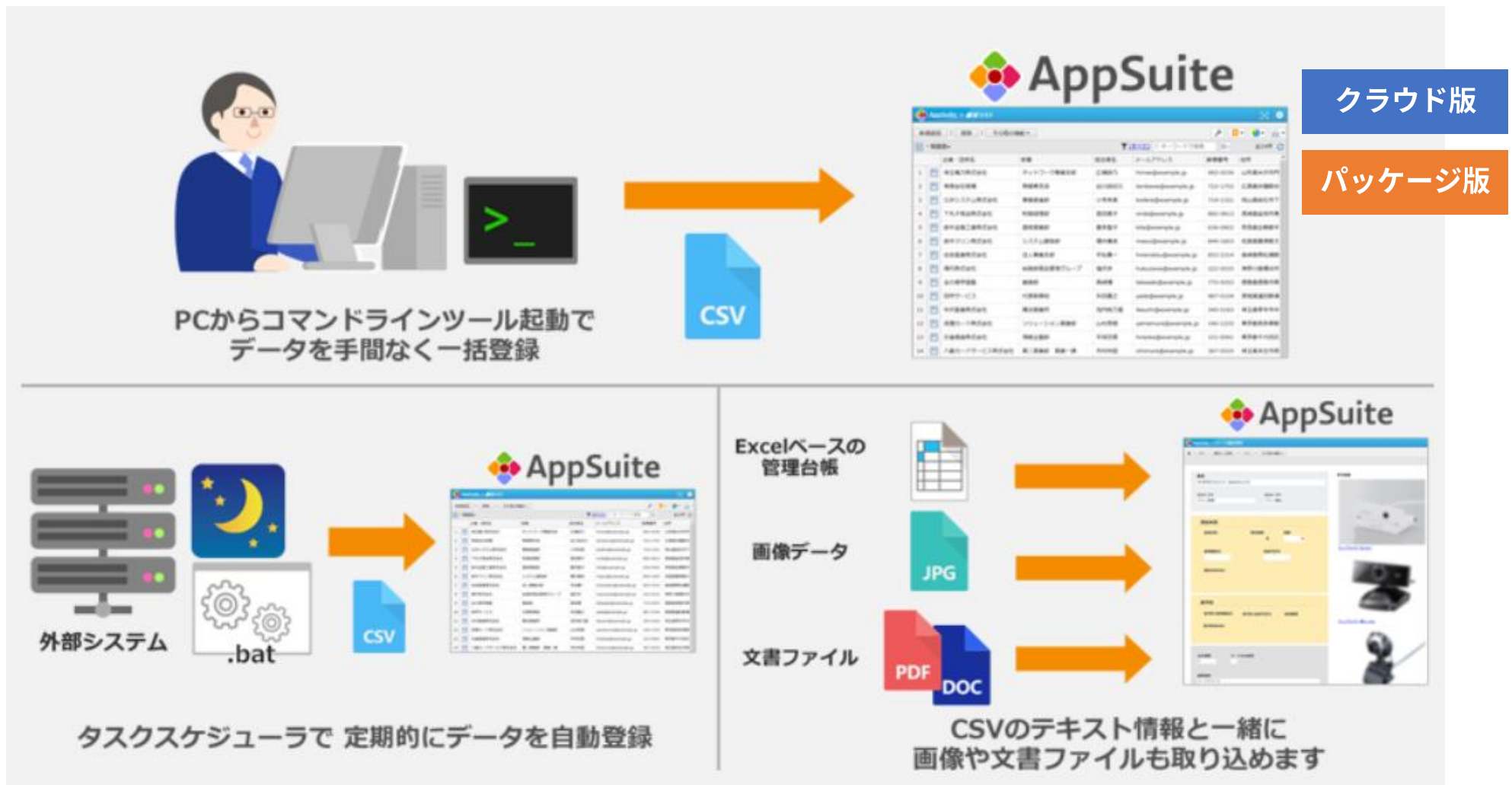
コマンドラインツールのご紹介

NEOJAPAN

株式会社ネオジャパン

コマンドラインツールとは？

事前にインストールしたコマンドラインツールを実行することで、コマンド操作でAppSuiteにデータを登録することができます。クラウド版、パッケージ版それぞれでご利用可能です。



コマンドラインツールを利用するにあたって

- (1) コマンドラインツールを、コマンド操作を行なうPC
へインストールする
- (2) データ取り込み用のAppSuiteアプリを作成する
 - アプリケーション識別子を入力する
- (3) desknet's NEOでアクセスキーを発行する
- (4) バッチファイルを作成する

コマンドラインツールのインストール

コマンドラインツールはウィザート形式でインストールできます。

AppSuiteコマンドラインツール (クラウド版・パッケージ版共通)


desknet's NEO V7.0 用

バージョン : V7.0 R1.0 / 公開日 : 2022年03月22日

ファイル名 : dneoappscmdlinetool_7.0.1.0_win_x64.exe

サイズ : 20,686 KB

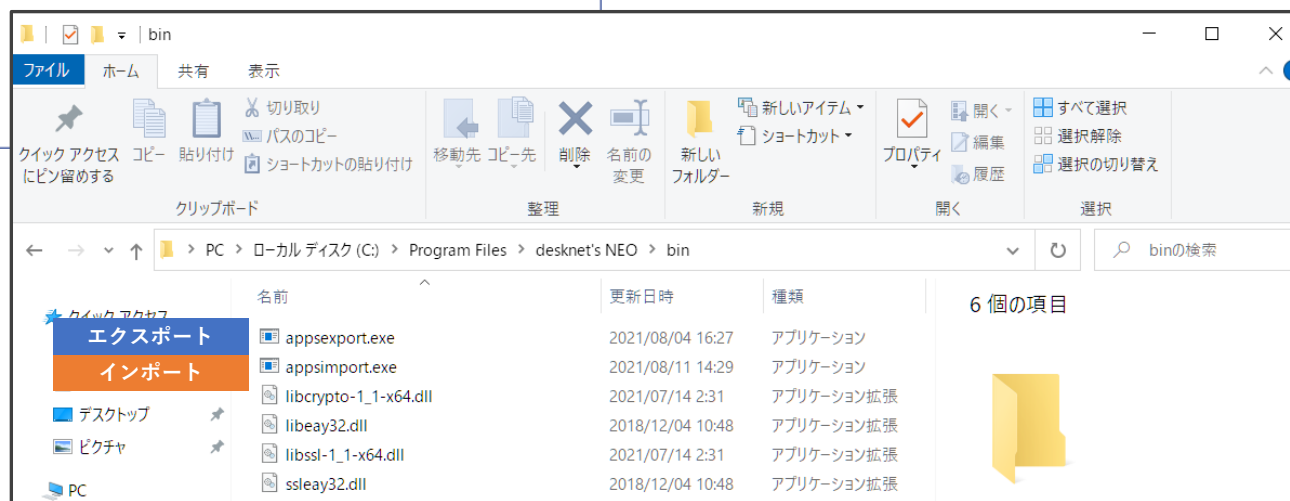
対象の本体バージョン: V7.0 R1.0、V6.1 R1.0/R1.1/R1.2、V6.0 R1.0/R1.1、V5.5 R1.0/R1.1/R1.2/R1.5、V5.3 R1.0/R2.0/R2.1

ソフトウェア使用許諾契約書 

AppSuiteコマンドラインツール
ダウンロード



インストール方法  / 利用マニュアル 



<https://www.desknets.com/neo/download/ascmdtool.html>

AppSuiteでアプリを作り、識別子を入力

<データ取り込み先アプリ例>

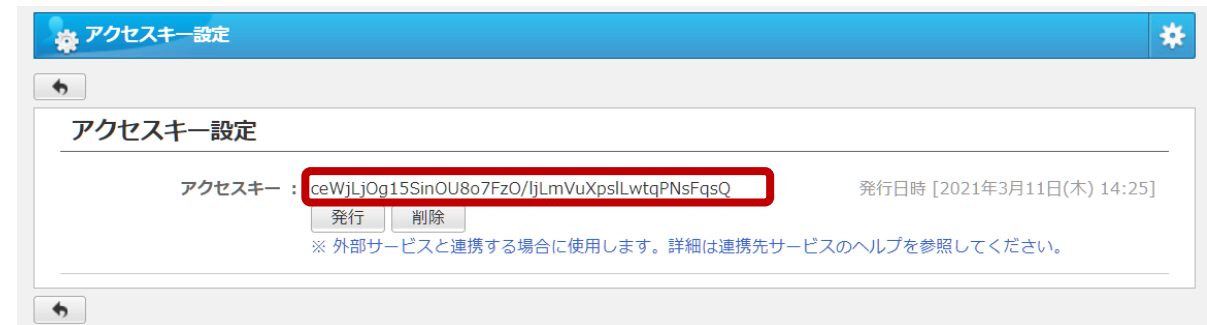
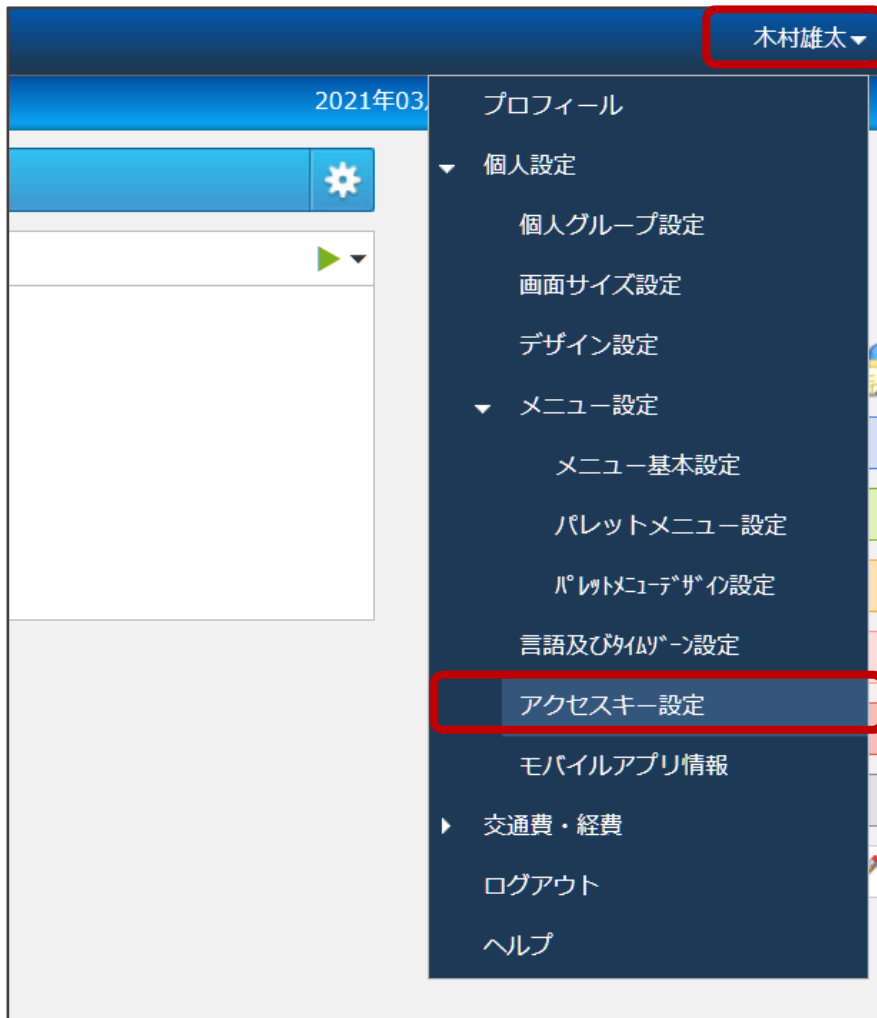
The screenshot shows the 'AppSuite' application creation interface. The header bar includes the 'desknet NEO' logo and buttons for '追加' (Add) and 'キャンセル' (Cancel). The form is divided into several sections: 'カテゴリ' (Category) with a dropdown menu set to '(未選択)' (Not selected); '作成日時' (Creation Date/Time) with a date and time picker; 'タイトル' (Title) with a text input field; '差出人' (Sender) and '差出人 (組織)' (Sender (Organization)) with text input fields; '添付ファイル' (Attachments) with a '選択' (Select) button; '表示開始日時' (Display Start Date/Time) and '表示終了日時' (Display End Date/Time) with date and time pickers; '本文' (Body) with a large text area; and 'コメント' (Comments) with a text area at the bottom.

<アプリケーション識別子>

The screenshot shows the 'AppSuite' application settings menu. The header bar includes the 'AppSuite' logo and the breadcrumb '旧掲示板 > アプリケーション設定'. The menu is divided into three main sections: 'アプリケーション' (Application), '画面' (Screen), and 'オプション機能' (Optional Functions). The 'アプリケーション' section includes '基本情報' (Basic Information) and 'アプリ削除' (Delete App). The '画面' section includes '画面デザイン' (Screen Design), '条件付きスタイル' (Conditional Styles), '表示設定' (Display Settings), '並び順設定' (Order Settings), and '部品管理' (Component Management). The 'オプション機能' section includes 'アクセス権' (Access Rights), '自動処理' (Automatic Processing), and '運用管理' (Operation Management). The 'API設定' (API Settings) option is highlighted with a red box.

The screenshot shows the 'AppSuite' application settings page. The header bar includes the 'AppSuite' logo and the breadcrumb '旧掲示板 > アプリケーション設定'. The page is divided into three main sections: 'メニュー' (Menu), '画面デザイン' (Screen Design), and '部品管理' (Component Management). The 'メニュー' section includes '変更' (Change) and 'アプリケーション識別子' (Application Identifier). The 'アプリケーション識別子' section includes a text input field with the value 'Office_convert'. The '部品識別子' (Component Identifier) section includes a checkbox for '部品識別子でデータの取得、設定を行う' (Use Component Identifier to get data, set) and a table with columns '部品名' (Component Name) and '部品識別子' (Component Identifier). The table contains one row with 'データID' (Data ID) and 'data_id'.

desknet's NEOでアクセスキーを発行



コマンド実行までの大まかな流れ



テキスト



添付ファイル



作成したフォルダ内の各種ファイルについて



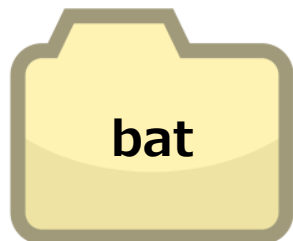
対象のAppSuiteアプリ内にインポートするCSVファイルを保存します。



対象のAppSuiteアプリ内にインポートする添付ファイルを保存します。



desknet's NEOのURLが記載されたテキストファイルを保存します。
また、対象のAppSuiteアプリに関する「取り込む部品と順序」を
記載したjsonファイルを保存します。

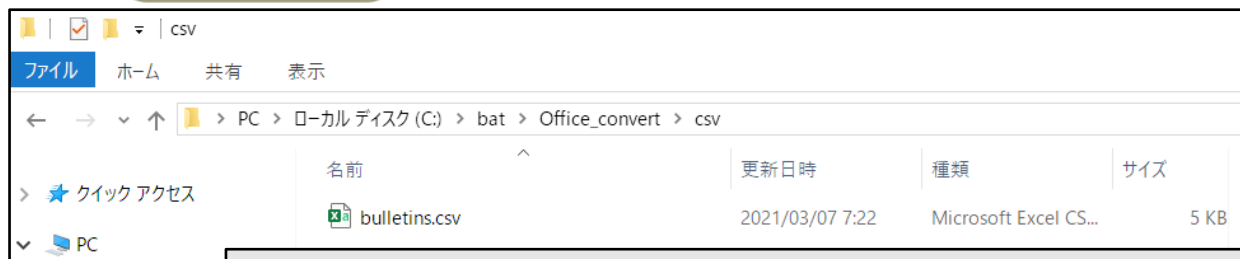


対象のAppSuiteアプリ内にデータをインポートするために記述したコ
マンドが含まれるバッチファイルを保存します。

csvフォルダ内のファイル



対象のAppSuiteアプリ内にインポートするCSVファイルを保存します。



| | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J |
|---|------|---------------|------|---------|---------------|----------------|----------------|---|--|-----------|
| 1 | カテゴリ | 作成日時 | 差出人 | 差出人(組織) | 掲示開始日時 | 掲示終了日時 | 標題 | 本文 | コメント | 添付ファイル |
| 2 | 総務部 | 2021/3/1 0:00 | 山田太郎 | 総務部 | 2021/3/1 0:00 | 2021/3/30 0:00 | 本社ビル一斉停電のお知らせ | <p>社員各位</p> <p>本社ビル発電設備リブレースに伴う大規模一斉停電が実施されますのでお知らせいたします。</p> <p>作業等を予定されている方は日頃の調整をお願い致します。</p> <p>記</p> <p>1.停電日時 X月2日(土) 午前9時~翌3日(日)午後5時迄</p> <p>2.停電範囲 本社全館</p> | <p>鈴木二郎</p> <p>2021/3/10(水) 13:00:00</p> <p>大阪営業所や名古屋営業所は対象外ですね？</p> | test1.txt |
| | 営業部 | 2021/3/1 0:00 | 鈴木二郎 | 営業部 | 2021/3/1 0:00 | 2021/3/30 0:00 | みなとみらい事業所のお知らせ | <p>弊社に新しい事業所が設立しました。</p> <p>設立箇所は横浜みなとみらいランドマークタワーになります。</p> <p>既に稼働しておりますので</p> | <p>山田太郎</p> <p>2021/3/10(水) 13:00:00</p> <p>入出するのに、現在の入出カードは使えますか？</p> | test2.txt |

attachフォルダ内のファイル



対象のAppSuiteアプリ内にインポートする添付ファイルを保存します。

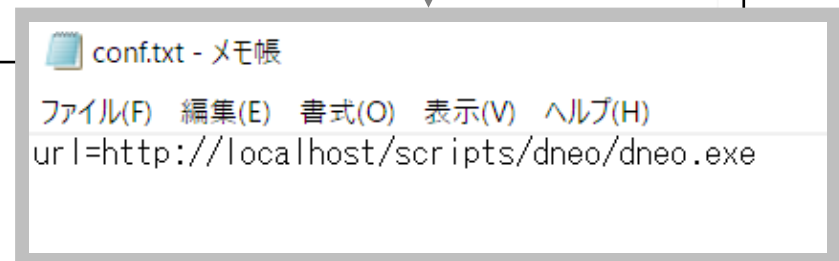
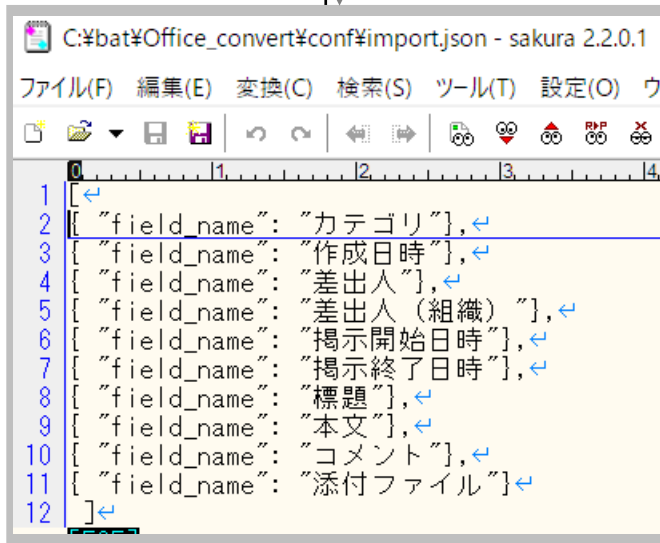
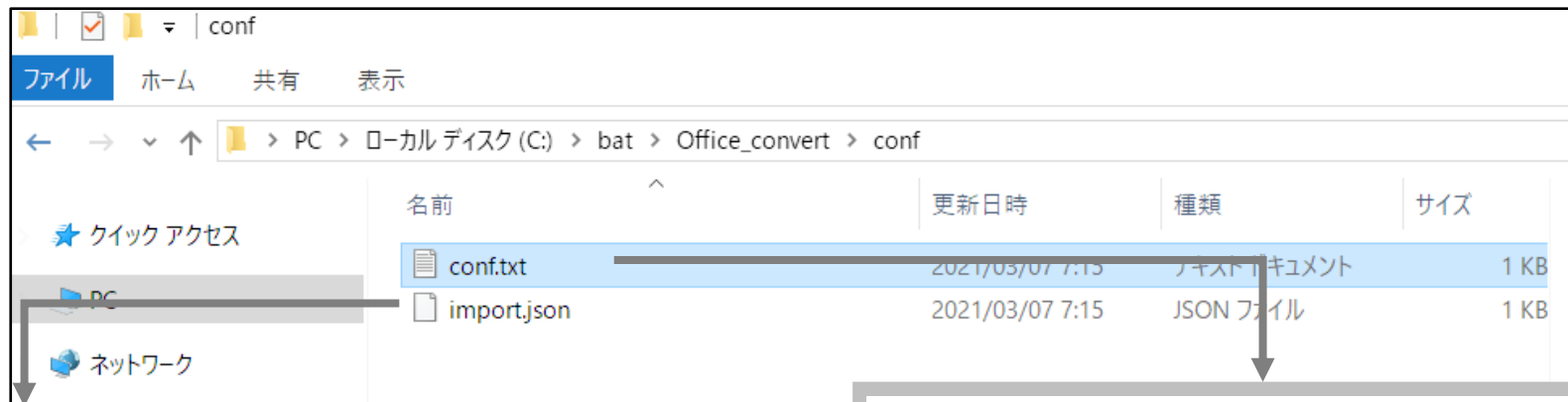


前頁のCSVファイル内のJ列：添付ファイル項目に実ファイル名を記載していきます。
上図はtxtを例としていますが、もちろん、excel、powerpoint、word、pdfも取り込めます。

confフォルダ内のファイル



desknet's NEOのURLが記載されたテキストファイルを保存します。
また、対象のAppSuiteアプリに関する「取り込む部品と順序」を
記載したjsonファイルを保存します。



【クラウド】 <https://〇〇〇.dn-cloud.com/cgi-bin/dneo/dneo.cgi>

jsonファイル保存時の注意点です。

左図はサクラエディタを利用しています。

※文字コードはBOM無しのUTF-8で保存してください。

Windows付属の「メモ帳」はBOM付きのUTF-8で保存されます。

ファイル保存時、拡張子はjsonとしてください。

左図内のField_nameは、CSVファイル内の項目を指定しています。

コマンドラインツールインポート時の起動引数

【コマンド例】

Windows版

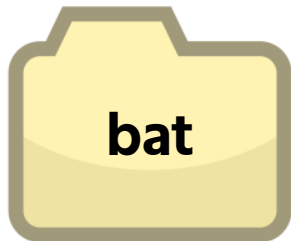
```
"C:\Program Files\desknet's NEO\bin\appsimport.exe" -conf "C:\tmp\conf.txt" -access_key sampleAccessKey -app_alias sample -f "C:\tmp\import.csv" -l "C:\tmp\import.log" -char_code sjis -delimiter comma -title_except on -import_type update -fields_file "C:\tmp\import.json" -match_with_title off -key_field_name "データID" -exec_user login -error_stop on -attach_dir "C:\tmp\attach"
```

【起動引数】

| 起動引数 | 指定する値 | 説明 |
|---------------|-----------------------|---|
| -conf | [接続設定ファイルのフルパス] | 必ず指定してください。 インポート対象のdesknet's NEOを記述した接続設定ファイルを指定します。 接続設定ファイルの書き方は、 接続設定 をご覧ください。 |
| -access_key | [アクセスキー] | 必ず指定してください。 インポートツールを実行するユーザーのアクセスキーを指定します。 |
| -app_alias | [アプリケーション識別子] | 必ず指定してください。 インポート対象のアプリケーションの[アプリケーション設定 > オプション機能 > API設定]を参照し、アプリケーション識別子を指定します。 実行するには、実行するユーザーがそのアプリケーションに管理権限がある必要があります。 |
| -f | [インポート対象のCSVファイル] | 必ず指定してください。 CSVファイルの書き方については、画面に「使い方」が記載されています。 [AppSuite > その他の機能 > CSVファイルからインポート]ダイアログ内の「使い方」を参照してください。 |
| -l | [ログファイルのフルパス] | インポートに失敗した行とその原因および、インポートに成功した件数と失敗した件数が、指定したログファイルに出力されます。また、エラーが発生した場合はその原因と詳細が出力されます。 この起動引数を指定しなかった場合、ログファイルは出力されません。 ※一部のメッセージは暗号化されており、NEOJAPANに問題を報告する際に原因調査のために使用します。 |
| -char_code | [sjis utf8n utf8] | CSVファイルの文字コードを指定します。この起動引数を指定しなかった場合、CSVファイルはシフトJISで記述してください。 [sjis] : シフトJIS(日本語、英数字のみ入力可能) [utf8n] : BOMなしUTF-8 (日本語、英数字以外も入力可能) [utf8] : BOM付きUTF-8 (日本語、英数字以外も入力可能) |
| -delimiter | [comma tab] | CSVファイルの区切り文字を指定します。この起動引数を指定しなかった場合、値はカンマで区切ってください。 [comma]: カンマ [tab]: タブ |
| -title_except | [on off] | CSVファイルの1行目にタイトルがあるかを指定します。 この起動引数を指定しなかった場合、CSVファイルのタイトルありでインポートを行います。 [on]: タイトルあり [off]: タイトルなし |
| -import_type | [update delete] | 実行する処理を指定します。この起動引数を指定しなかった場合、データの追加・変更を行います。 [update]: データの追加・変更 [delete]: データの削除 ※データを変更または削除するには、"-key_field_name"で「照合を行う部品」を指定する必要があります。 |
| -fields_file | [インポート先部品設定ファイルのフルパス] | インポート対象部品を記述した部品設定ファイルのフルパスを指定します。 この起動引数を指定しなかった場合、CSVファイルのタイトルに合わせてインポート先の部品を自動設定します。 部品設定ファイルの書き方は、 部品設定 をご覧ください。 ※書式内の"field_name"を空欄にした場合、その列はインポートされません。 ※文字コードはBOM無しのUTF-8で保存してください。 ※Windows付属の「メモ帳」はBOM付きのUTF-8で保存されるため、使用しないでください。 |

https://www.desknet.com/neo/help_apps/ja_JP/appendix/appstool/001.html

batフォルダ内のファイル



対象のAppSuiteアプリ内にデータをインポートするために記述したコマンドが含まれるバッチファイルを保存します。



- | | |
|--|---|
| <p>① "C:¥Program Files¥desknet's NEO¥bin¥appsimport.exe"</p> <p>② -conf "C:¥bat¥Office_convert¥conf¥conf.txt"</p> <p>③ -access_key Se4+2S7jpAn3vgbBKfBiAKQAqI9nM7ClQ9PrtSnkrpY</p> <p>④ -app_alias Office_convert</p> <p>⑤ -f "C:¥bat¥Office_convert¥csv¥bulletins.csv"</p> <p>-l "C:¥bat¥Office_convert¥log¥import.log"</p> <p>-char_code sjis</p> <p>-delimiter comma</p> <p>-title_except on</p> <p>-import_type update</p> <p>⑥ -fields_file "C:¥bat¥Office_convert¥conf¥import.json"</p> <p>-match_with_title off</p> <p>-exec_user login</p> <p>-error_stop on</p> <p>⑦ -attach_dir "C:¥bat¥Office_convert¥attach"</p> | <p>→ コマンドラインツールのexeファイル</p> <p>→ desknet's NEOのURLを記載したファイル</p> <p>→ desknet's NEOで発行したアクセスキー</p> <p>→ AppSuite内で記入したアプリケーション識別子</p> <p>→ AppSuite内に取り込むcsvファイル</p> <p>→ インポート後のログファイル（ファイル設置不要）</p> <p>→ CSVファイルの文字コード。今回はsjis</p> <p>→ CSVファイルの区切り文字。今回はcomma</p> <p>→ CSVファイルの1行目にタイトルがあるかを指定。今回はon（タイトルあり）</p> <p>→ 実行する処理を指定。今回はupdate（データの追加・変更）</p> <p>→ インポート対象部品を記述した部品設定ファイル（json）</p> <p>→ CSVファイル1行目にタイトルがある時、タイトルからインポート先の部品を自動設定。今回はoff</p> <p>→ データの登録・更新者を指定。今回はlogin（アクセスキーで指定したユーザーを登録・更新者とする）</p> <p>→ インポート中にエラーが発生したとき、インポートを続行するかを指定</p> <p>→ 添付ファイルが格納されたディレクトリのパス</p> |
|--|---|